



上建第 33 号
平成 19 年 4 月 18 日

国土交通省道路局長 様

佐賀県 上峰町長 大川 紀男



中期的な計画の作成にあたっての意見について（提出）

平成 19 年 4 月 2 日付け道企第 114 号にて依頼のあった標記の件について、下記のとおり提出いたします。

記

1、重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地域においては、地方都市間との連携が重要なことから、高速道路利用の積極性や高速化の促進のためにインターチェンジの増設については積極性が伺えるが、利用料金の引き下げや ETC 設置の負担軽減策などに現行以上に取り組んで欲しい。

また、渋滞対策は永久の課題かと存じますが併せて、地域国道においては歩道の設置状況が不十分かと存じます。

2、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

一般地方道や市町村道も同様であるが、沿線住民や NPO などが道路管理に参画できるような企画を推進し、道路管理費用の軽減を図るべきだと感じます。

3、その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

国道の未整備区間の整備計画に関しては“整備期成会”の設立など地域の意見をも取り入れられるようになり、政策そのものが身近に感じられ、用地交渉時にも比較的スムーズな対処が出来るように感じられます。

以上。